

ベリーズ犯罪等発生状況（令和6年7月分）

〔殺傷事件関連〕

7月6日〔銃撃事件〕 午後11時頃、カヨ郡のコットンツリー村にて男性2名が銃撃され、その内の1名が死亡、もう1名が重傷を負った。警察によると死亡した被害男性は、事件当日の夜、自宅前で自分の友人と若い男性が口論になっているのを見かけ、仲裁しようとしたところ若い男性に撃たれ死亡した。また、口論になっていた友人も撃たれ、その場に倒れた。友人はその後、KHM病院へ搬送され治療を受けているが、意識不明の重体である。なお、非常事態宣言対象地域で発生した事件だったため、警察は全力で犯人を特定すると述べている。

7月20日〔銃撃事件〕 午前1時半頃、スタンクリーク郡のダングリガ町で男性（23歳）が撃たれる事件が発生した。警察によると、被害男性は2人の友人と共通知り合いの通夜に出席していた。通夜に出席していた他の数人が、友人の1人と激しい口論となり、被害男性が仲裁しようとした際に複数銃撃され重傷を負った。南部地域病院へ搬送された被害男性は、その後、手術を受けるため西部地域病院へ搬送されたが、意識不明の重体である。警察は、事件の目撃証言を元に複数の容疑者を特定し、取り調べを進めている。

7月20日〔銃撃事件〕 オレンジウォーク郡のトライアルファーム村にて一家が銃撃される事件が発生した。自宅で過ごしていた被害者家族より家に向かって銃声がしたと警察へ通報があり、駆けつけた警察が玄関に銃弾の後を発見した。その後、警察は銃撃犯である未成年の少年（17歳）を逮捕、拘束した。銃撃事件の動機については、少年は過去に被害者家族と激しい口論になったことをいまだに根に持ち、犯行に及んだと述べている。

〔強盗事件関連〕

7月1日〔警備員による窃盗事件〕 午前6時半頃、ベリーズシティのバスターミナルで警備員として勤務していた男性（50歳）が女性警察官（28歳）からiPhone12を窃盗したとして逮捕、起訴された。女性警察官が屋台で朝食を摂っていたところ、テーブルに置いてあった自身のiPhone12がなくなっているのに気がつき、その場から早足で立ち去ろうとした男性を呼び止めた。女性警察官は、自分が警官であることを男性に伝え（女性警察官は出勤前だったため私服だった）、盗んだ物を返さなければ応援を呼ぶと告げた。男性は盗んだiPhoneをその場で返却後、逮捕され警察署へ連行された。

7月12日[葬儀会社へ銃撃強盗事件] 午後3時頃、ベリーズシティのアルバート通り沿いにある葬儀会社で銃撃強盗事件が発生した。警察によると、黒い服を着た不審男性が突然社内に入し、社内にいたオーナーの母親に銃を向けた。騒ぎを聞きつけ警察がすぐに到着したが、不審男性はすでに逃走した後だった。幸いにも被害等はなく、また、母親にもけがはなかった。葬儀社のオーナーは、監視カメラの映像を警察へ提出すると共に、地域住民にも映像を共有する等、犯人逮捕への呼びかけを行った。

7月16日[強盗事件] 午前1時頃、ベリーズシティのフィリップ・ゴールドソン・ハイウェイ沿いにあるブロディズスーパーマーケットの店舗で強盗事件が発生した。この店舗では、安全対策として警報装置を設置していたが、正常に作動しなかったため盗難を阻止することができなかった。警察によると、2人組の強盗犯は店舗の屋根から侵入し、天井裏から金庫が保管されている事務所の真上まで進み、天井の鉄板2枚を外し事務所へ侵入すると10万BZD（約716万円）が保管された金庫を盗み出した。その後、警察の特別巡回部隊によって数名の容疑者を逮捕したが、この事件に関与しているかについては、現在、取調中である。

7月20日[強盗事件] ベルモパン市郊外のスプリングフィールドにあるメノナイト教徒の農場で強盗事件が発生した。警察によると、銃を所持した4人組の強盗犯が農場に現れ作業をしていた農夫たちを銃で脅し、所持していたスマートフォンを含む私物と近くに停めてあった7万BZD（約511万円）相当のピックアップトラックを強奪し、逃走した。なお、農夫たちにけがはなく、警察は容疑者の行方を追っている。

7月26日[強盗事件] 午前8時頃、ベリーズシティのパートリッジ通りにて強盗事件が発生した。警察によると、事件の被害者は市内の配達員で、中国メーカーの黒いバイクに乗った2人組の男達が配達員に近づき、銃を突きつけて脅した。強盗犯たちは現金2千BZD（約14万円）とサムスン製のスマートフォン、車のキーを奪ってリバーサイド通りに向かって逃走した。警察は、犯行を行った強盗犯が市内に潜伏している可能性があるとして、地域住民に対して警戒を呼びかけている。

7月28日[強盗事件] 午後2時頃、ベリーズシティのモスル通りにて強盗事件が発生した。警察によると、被害に遭ったのは市内で勤務する警備員の男性（63歳）で、モスル通りを歩いていたところ後ろから近づいてきた男性2人組に襲われた。強盗犯の1人が被害男性を銃のような物で脅し、もう1人が被害男性のポケットに入っていた現金3千5百BZD（約25万円）を強奪してイーストコレット運河方面へ逃走した。

[麻薬密輸、違法銃器等関連]

7月17日[他国の麻薬捜査でベリーズ人を逮捕] グアテマラのペテン州メルチョル・デ・メンコスで行われた麻薬捜査で、ベリーズ人男性（37歳）が逮捕された。グアテマラ当局の情報では、捜査中に発見した密輸品の中には、合成麻薬エクスタシーが632錠と密輸タバコ6万箱、ベリーズのナンバープレートをつけたピックアップトラック1台が押収された。ベリーズでは以前から、近隣国から麻薬やその他の物品を国内に密輸する犯罪者が後を絶たず、今回逮捕された男性もベリーズへの密輸がしやすい国境付近のグアテマラの村へ潜伏していたところを発見された。

7月30日[麻薬摘発事件] 午前8時頃、スタンクリーク郡のダングリガ町で大量の麻薬が発見された。警察によると、同町に対して大規模な麻薬捜査を行ったところ、ジョージプライス・ドライブ沿いに住んでいる男性（53歳）の自宅の庭にある倉庫から密売目的で保管されていたマリファナ228kgと不正に加工したクラックコカイン170グラムが発見された。この男性の他、事件に関与したとして男性の事実上の妻とその弟、スロバキア共和国出身の男性の合計4名が逮捕、拘留されている。

[その他事件・事故関連]

7月6日[氾濫した川に取り残されたカナダ人夫婦を救出（※当館注目）] 午後5時頃、カヨ郡のマウンテンパイニンリッジ森林保護区内にあるリオ・オン・プールにてカナダ人夫婦が川に取り残される事故が発生した。カナダ人夫婦は、この川で遊泳を楽しんでいたところ、突然水位が上昇し、流れも激しくなったため、川の中央にある岩場へ避難したところ、そのまま取り残されてしまった。2名はその後、駆けつけた救助隊により5時間かけて救出された。この事故に関してベリーズ捜索救助訓練研究所によると、ここ数日この地域では雨が降り続いていた。川で遊泳をする際は、事前に当日の天候状況をしっかりと確認し、事故に巻き込まれないよう行動することが最大の予防策だと述べている。

7月14日[行方不明の男性が遺体で発見] 午前9時頃、カヨ郡サンイグナシオ町のマカル川で男性の遺体が発見された。男性は前日の午前3時頃、サンイグナシオ町のプリンセス・カジノから出てきたところを最後に行方がわからなくなっていた。家族は周辺住民や友人らと必死に捜索したが見つからず、川に浮いているところを警察に発見された。死因を特定するために検死が行われているが、遺体に明らかな外傷がないことから事件性は低いと見られている。

7月14日[**交通事故死**] 午前6時半頃、フィリップ・ゴールドソン・ハイウェイで4人が死亡、2人が重体を負う交通事故が発生した。この事故は、ベリーズシティへ向かっていた灰色の車両が反対車線から来た黒い車両と正面衝突し、灰色の車両に乗っていた夫婦が死亡、黒い車両に乗っていた親子2名が死亡し、この車に乗っていた親子の友人である2名が重傷を負った。事故の処理を終えた警察は、今回の事故に関する責任の所在について確認中としている。

7月17日[**サイバー犯罪の増加**] ベリーズ国内のデジタル環境が拡大するにつれ、同国ではサイバー犯罪の急増に直面している。警察は、急増するサイバー犯罪に対抗するために高度なAI技術を活用する取り組みを進めている。サイバー犯罪者は、個人と企業の両方を標的にしており、国民の個人情報漏洩や金銭的損失につながっている。当局の情報技術担当監督官は、国内のデジタル改革を続ける中、サイバー犯罪の防止は依然として最優先事項だが、国民が適切なデジタル知識を持つことも重要であると述べている。